

1 松任小学校

応援合戦は今年も熱かった!

児童600人が赤白青の3組に分かれて熱戦を繰り広げましたが、中でも全員参加の応援合戦に感動しました。各組が工夫を凝らした趣向で、互いの健闘を讃えあう姿に、猛練習の跡がうかがわれ、胸が熱くなりました。



2 東明小学校

声～響け165人の思い～

5・6年生のスタンツです。子どもたちが作る立体美。写真からはやり遂げさせるという強い思いが伝わってきます。子の成長を強く感じる保護者も多かったようです。



3 北陽小学校

EN ～援・円・縁～

5・6年生総勢211名による伝統の組体操は、3週間前から練習に励み、「EN～援・円・縁～」というテーマで、統制を重視した組体操を演じ切り、観衆の歓声と喝采がわきおこりました。



4 旭丘小学校

縦割り種目 旭じょんがら

開校36年目にし、初めて「旭じょんがら」が運動会種目に・・・。地元の伝統的な踊りが、未来の担い手である子どもたちによって再現されました!



5 無城小学校

6年間の熱い思い

その日は天気にも恵まれ怪我もなく無事に最後の競技が終わった時の一コマです。6年生の各団長が担任に感謝の言葉を述べるシーンがありました。6年間最後の運動会を無事終えられたこと、短い期間の練習で児童と先生方が一つになり熱心なご指導のもと、やり遂げられたことへの感謝の言葉でした。(感動!!)



6 千代野小学校

全校競技

全校競技があるののでいろいろな学年の人たちと交流する事ができます。



7 松陽小学校

Challenge the Wave! ～弾ける! 松陽SPIRIT2016～

今年の高学年表現運動のテーマです。ピラミッドやタワー無しでの組体操という変革(波・ウェイブ)は挑戦(チャレンジ)する事、それでも松陽小の心(スピリット)を表現する事は可能だという意味です。最高の演技でしたよ。



8 石川小学校

源兵島の合戦(騎馬戦)

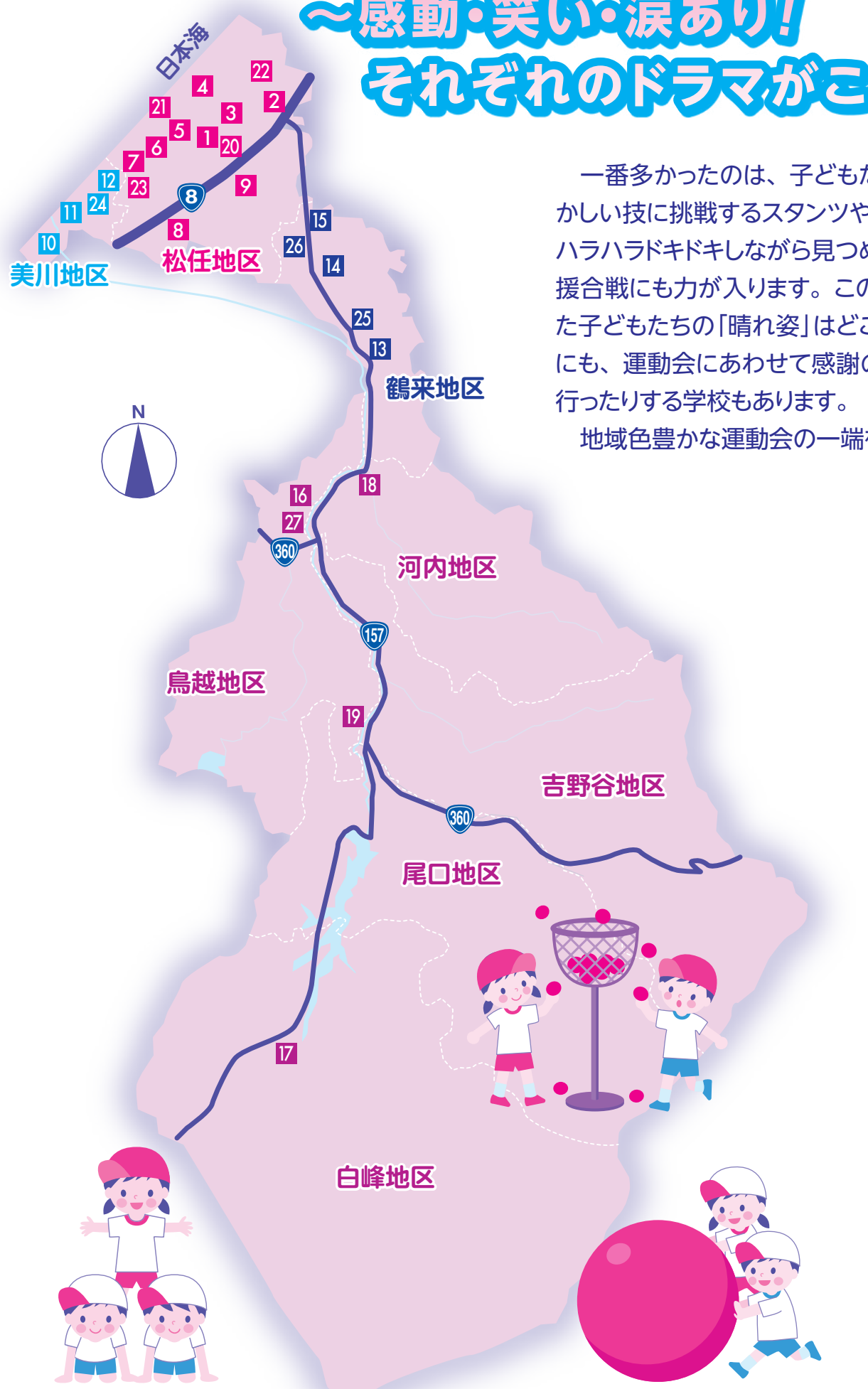
私が小学生の頃の「騎馬戦」と言えば、男子児童が参加していた競技でしたが、今では女子児童も参加しています。よく見ると、大将の騎馬には女子児童が・・・男子児童に負けず、激しい戦いとなりました。



新学期、まだごちなさが残るクラスの先生や仲間たちで準備を始める春の運動会。夏休みの楽しかった思い出話もそこに、集中して取り組む秋の運動会。今回はそんな運動会について、「我が校の運動会あれこれ」と題して、各学校の特色ある競技などをご紹介します。

我が校の運動会あれこれ!

～感動・笑い・涙あり!～
それぞれのドラマがここにある!～



一番多かったのは、子どもたちが真剣なまなざしでむずかしい技に挑戦するスタンツや組体操。応援する保護者もハラハラドキドキしながら見つめています。チーム対抗の応援合戦にも力が入ります。この日のために練習を重ねてきた子どもたちの「晴れ姿」はどこか誇らしげですね。その他にも、運動会にあわせて感謝の気持ちを伝えたり、表彰を行ったりする学校もあります。地域色豊かな運動会的一端をお楽しみください。

10 湊小学校

みんな一致団結!全力疾走!

個人競技団体競技・組体操・応援合戦など、どの競技でも一丸となり最後まで諦めずに全力でやり遂げました。子どもたちの顔を見て達成感がうかがえました。6年生は最後の運動会でいろいろな役割がある中でみんなをまとめて、盛り上げました。



11 美川小学校

YOUNG POWER ～美川～

5・6年生で行われたスタンツです。高さの制限がある中で決して高くはないけれども大成功したピラミッド。幾度も練習を重ねてきたのだと思います。息もぴったり、そろった演技を真剣な眼差しで行っていました。見ている児童や大人たちに大きな感動をありがとう!



12 蝶屋小学校

みんな輝け、全力笑顔

毎年、各町子ども会でテントを立て、お昼はそこで一緒に手作り弁当を食べる。閉会式が終わるまで、見守り、応援し、皆で片付けをする。当たり前のことが出てきている蝶屋小運動会。普通かもしれないけど、それが一番!!



24 美川中学校

白熱感動の応援合戦

我が美川中学校の体育祭と言えば応援合戦です。赤・青・緑・黄の4団に分かれ、3年生中心に1・2年生を加えた団体応援を披露します。特に3年生は夏休みから練習し各団共、一致団結し個性豊かな素晴らしい応援に心が感動します。



16 鳥越小学校

最後の最後に雨!でもやり切った子どもたちに拍手

雨が降り始める中、なんとか続行させたいと、最後は体育館で行うこととなった組体操。辛かった練習の成果が一つの形になり、子どもの成長を改めて感じました。立派に役割を果たしてくれた6年生の表情からは充実感や達成感を 읽うことが出来ました。



17 白峰小学校

地域にあった運動会

我が校は児童数が33名と少数なので、種目にはほとんどみんな出る事になります。撮影する保護者は大忙しです。今年は保育園の園児と初めて合同で実施しました。園児が加わった事により、1・2年生の児童がお兄さんやお姉さんに見える、不思議な感じがありました。大きな学校では出来ない、地域にあった運動会の形だと思います。



18 河内小学校

全校リレー

運動会のフィナーレを飾る全校リレー。全校児童がそれぞれの「めあて」を持って楽し上げた運動会の最終種目です。上級生が下級生を指導し、バトンの練習もしました。応援席も一番力が入る瞬間です。



19 白嶺小中学校

綱引き

わが校は小中学校合同の運動会。当日はあいにくの雨でしたが、綱引きにおいて、今年は小学校と中学校の各代表選手による決定戦が行われ、学年を超え一喜一憂する子どもたちの姿に、会場中が大変盛り上がりしました。



27 鳥越中学校

騎馬戦

鳥越中学校の団体競技は全学年混合で行う為、3年生が中心となり心一つにし、勝利を掴もうとする姿がとても素晴らしいです。



14 明光小学校

記憶に残った「スタンツ」

全保護者の記憶に残ったのは6年生の「スタンツ」だと思います。安全に配慮しながら、一体感があり十分に見ごたえのある競技でした。もちろん全競技が子どもたちの思い出です。



15 広陽小学校

決戦! 広陽が原の戦い2016

高学年による騎馬戦「決戦! 広陽が原の戦い2016」は、赤組・白組・青組の総勢200名近くの子どもたちが総当たり戦を行いました。相手に果敢に立ち向かっていく騎馬、相手の背後に回り不意打ちを仕掛ける騎馬、相手から必死に逃げ回る騎馬、離れたところで様子を伺う騎馬・・・毎年のことながら、様々な光景と迫力ある騎馬戦を見ることができました。



25 鶴来中学校

緑窓賞

緑窓賞は3年生を対象に学校生活の中で部活動、生徒会活動などで多大な貢献をした生徒、努力した生徒を称えるための表彰です。3年生の3年間の思い出をつづった卒業文集のタイトル「緑窓」からとりました。



26 北辰中学校

親子で作る運動会

すべての種目で真実勝負ですが、最近の名種目は、PTA有志も参加するリレーです。生徒たちは走りには走りませんが、気持ちだけは負けない気持ちで真剣に!! 邪魔をしないようにコースの外周を走ります。今後もPTAも真剣に参加する競技を考えて、「親子で作る運動会」を続けていきたいです。



石川県PTA連合会

小中学生総合保障制度
(子ども総合保険+自転車総合保険)

加入実績 **約16,000名**
(平成28年度)

割引率 **約45%**
(平成29年度)

学校が休みの日でも **1日24時間補償します**

大切なお子さまを補償期間(保険有効)中、

- 加入書類は平成29年度入学・始業式後等に学校を通じて配布します。(一部地域を除く)
- 底にご加入されている方は、3月頃に「自動更新のご案内」を郵送しますので、ご確認ください。
- 制度の詳細につきましては、各学校で配布されるパンフレット・重要事項説明書をご確認ください。
- 不明な点がございましたら上記の引受幹事保険会社までご連絡ください。

【引受幹事保険会社】

AIU損害保険株式会社 金沢支店
〒920-0919 金沢市南町4-60
金沢大同生命ビル2階
☎076-223-1144(平日9:00~17:00)

株式会社トライ
〒920-0362 金沢市古町1-185 修和ビル2階
☎076-240-7106(平日9:00~17:00)

2017年2月現在の内容です。
A-000711(2016-04)

子どもを交通事故から守りましょう!!
～自転車乗車時にはヘルメットの着用を～

自転車ヘルメット購入費用を助成します!!

対象者 市内に住所を有する幼児・児童の保護者
※幼児:市内に住所を有する6歳未満の者
※児童:市内に住所を有する6歳以上13歳未満の者(中学生を除く)

助成額 1,000円(販売価格が1,000円に満たない時はその価格)
※必ず市内の事業協力店で購入してください。
※一人3年に一回が限度です。
※「自転車ヘルメット購入助成券」が必要です。

お問い合わせは
市民生活部地域安全課まで ☎274-9537(直通)

編集後記

市内の小中学校には必ず運動会があり、珍しい競技、様々な名前の競技、定番の演技があります。運動会に思い出に残っているのは、今はもうやらなくなったみたいですが、「若い力」かな? 小学校を卒業して40年近くたますが今も何となく歌も振り付けも覚えています。中学校ではフォークダンスの練習をたくさんしたような気がします。中学生は体育の授業は男女別々ですが、フォークダンスの練習は一緒にするのうれしはずかしかったような気がします。その時に、私と妻は同級生なので手をつないで踊ったかもしれません。申し訳ないのですが覚えていません。

今号はご自分のお子様のことだけでなく、皆様の色あせた記憶を少しよみがえらせて懐かしんでもらって、明日への活力にしたいだけだと思います。

最後になりますが記事を提供していただいた関係者の皆様、長時間にわたる編集作業をしていただいた委員の皆様、ほか関係者の方々に感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

(広報委員会副委員長 盛本匠)